

ふくしゅう ぶんぽう
復習する文法

1

ようたい けいようし
様態①「イ形容詞／ナ形容詞＋そうです」(L9)そと み おも つか
外から見て、そのように思うとき、「～そうです」を使います。れい
例はやし かいしゃ なか はし
林さんは会社の中を走っています。み かんが
林さんを見て、考えました。いそが
林さんは忙しそうです。

復習する文法

2

様態②「動詞^{どうし}＋そうです」(L10)

もうすぐ^{なに}何か起こる、そのすぐ^{まえ}前の^{ようす}様子^{あらわ}を表すとき、「～そうです」を使います。

例

^{かみ}紙に^{えんだま}10円玉をのせました。

もうすぐ^き切れるでしょう。



紙が切れ^きそうです。

復習する文法

3 プレゼント くれる (L11)

^{わたし}私がほかの^{ひと}人にもらったときだけ、
「ほかの人は私に くれました」と言えます。

例

^{とも}友だちは、私にカードをくれました。

復習する文法

4 親切な行為 ～てくれる (L12)

私がほかの人にしてもらったときだけ、
「ほかの人は私にしてくれました」と言えます。

例

友だちは、私のために、お^{ちゃ}茶をもってきてくれました。

復習する文法

5 ^{へんか}変化 ~てくる (L11)

^{まえ}前に^{なに}何かが^お起こって、今まで、
その変化が^{つづ}続いていることを表します。

例

^{あか}明るくなりました。➡ 明るくなってきました。

復習する文法

6

うけみ
受身 (L13、14)

からだ ぶぶん も もの はた かたち ぶん
人の体の部分 / 持ち物へ働きかける形の文では、
受身にするときは、「私」をちゅうしん中心にかんが考えて表します。

例

おんな 女の人あしはふ私の足を踏みました。



私は、女の人に足を踏まれました。